

## 進捗状況の概要

本事業では①京都府北部に人材育成拠点を設置、理工系人材及びサービス経営人材を輩出し地元に着させること、②府全域において大学卒業後に地元で就職し地域産業を支える若者を増加させること、という双方の取組を通じて京都府の地域活性化を図ることを目指している。

京都府、COC+大学である京都工芸繊維大学、COC+参加校の京都府立大学、京都学園大学、舞鶴工業高等専門学校は、平成 28 年度から参加する京都文教大学及び京都大学とともに、事業に係る連携・協力に関する協定を締結し、事業推進のための協議の場及び委員会への参画、インターンシップの充実、地域課題解決型授業やプロジェクトの推進、地域企業等就職支援活動について連携・協力することで合意した。

また、事業協働機関として京都府及び府下の工業系・商工系経済団体を含む 10 機関の参画を得て、事業推進における合意形成を図る「京都 COC+実行本部」及び、地域志向の教育プログラム開発とプログラムの実現のための協議を行う「教育プログラム開発委員会」を設置し、京都府における地域創生人材育成の中核的役割を担う事業を展開する体制が整った。

COC+大学である京都工芸繊維大学は、府北部地域の人材育成拠点となる「福知山キャンパス」開設の準備を完了し、学部共通プログラム「地域創生 Tech Program」（定員 30 名のうち府北部地域枠 12 名）の平成 28 年度の開設に向けて、専任教員の人選及び広報活動、カリキュラムの準備を進めた。福知山市とは平成 27 年 4 月に包括協定を締結しており、福知山キャンパスを拠点に地域企業でのインターンシップや地域課題解決型学習の拡充等を図ることで、地域への人材輩出、若者の定着を目指す取組を進めている。事業協働機関である府北部各地の商工会議所とは、これまで大学 COC 事業等において連携を積み重ねてきており、京都 COC+実行本部会議（3 月 18 日）の場で、本事業においてもさらに連携を深め、地域課題 PBL、インターンシップ、地元就職マッチングや奨学金・寄附講座の受入れに関する協力を得ることを確認した。また、COC+推進コーディネーターが府北部地域に立地する企業約 20 社を個別に訪問し、インターンシップ拡充などを含めて将来的な連携についての内諾を得た。これらの基盤の上に、地域創生人材育成プラットフォームを構築し、地域貢献・活性化に向けた取組を継続的に推進してゆく。

参加校の京都府立大学、京都学園大学、舞鶴工業高等専門学校は、今年度において、NPO や地域企業との連携による地域公共人材資格「グローバル人材資格プログラム」の創設や、地元企業・農家と共同で食品開発・新種苗開発を行う新センターの設置、地域企業・自治体等の協力による地域志向教育プログラムの開発など、地域ニーズに対応する理工系人材やサービス経営人材を育成するための基盤を整えた。

今後、COC+大学及び COC+参加校は、特に各大学が実施する府北部地域での PBL やフィールドワークについて、相互に連携してカリキュラム開発を行うと同時に、授業の実施に当たっても大学間の学生交流を進める。今年度においては福知山キャンパスの交流スペースの整備を完了し、次年度より各校の学生や地元企業との交流の場として活用する準備が整った。

3 月 18 日には、北京都の企業、教育関係者、自治体、市民に事業の取組を紹介することを目的として、福知山市にて「COC+キックオフ・フォーラム 2016 in 京都—北京都を中心とする国公私・高専連携による京都創生人材育成事業—」を 4 校共催で開催した。地元企業・自治体・大学関係者を中心に定員を上回る約 170 名の参加があり、京都府副知事の講演や各校の取組の紹介を行うことで、本事業の連携体制や方向性を示すことができた。同地域の参加者が 7 割を超え、本事業への期待や、事業に参加・協力したいという要望が寄せられるなど、関心の高さがうかがわれた。

(COC+大学名：京都工芸繊維大学、事業名：北京都を中心とする国公私・高専連携による京都創生人材育成事業)